e-ビーフNEWS 北の牧場から

September 2025

十勝は、気温の下がり急。

内地ではまだまだ猛暑日連続のニュースはうそのよう。朝方は20℃を下がり涼しいから上着を羽織るほど。日中は30℃近くまで上がっても体は楽になってきた。一昨年のような熱帯夜がなかったのが、牛にとっても救いで事故も少なかった。5月からの異常高温(平均5℃アップ)は、十勝畑作農家に深刻な影響を与えた。今、収穫真っ盛りのジャガイモは小粒、変形が多く、収量減に。急拡大したブロッコリーなどの野菜の収量減が顕著になっている。牛たちの乳量減がここに来て出てきた。

デントコーンの収穫が始まった。8月末の収穫作業は初めて。スタックの山に青生臭いにおいが広がる。牛たちに与えるおいしい飼料を詰め込んだ。裏作でライ麦を、不耕起で播種する。農産の新たな挑戦が始まっている。澄み切った秋の空気が、収穫期の十勝平原から日高山脈を輪郭クッキリと蒼く浮かばせる。まだまだ日があるのに1年間早かった気がする

活動のお知らせ

- 9/15(月) 日本産肉研究会第36回学術集会 岐阜大学 第三会場(応用生物科学部棟103) 定員100名
13:00~17:00 シンポジウムテーマ「今、国内の牛肉生産に求められていることは?」
【参加申込】
https://docs.google.com/forms/d/1bk_xJrEuW8wQ8jxR5H9NHeNnSLUSneHusZdpljdOLI/edit
- 10/22(水) HOBA北海道オーガニックビーフ振興協議会臨時総会 とかちプラザ
HOAP一般社団法人 日本オーガニック畜産会合設立総会
- 10/23(木) 第12回北海道肉専用種枝肉共励会 北海道畜産公社 十勝工場
第22回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2025「Future With Cows 牛とともに歩む未来～資源循環型生産の一事例から～」
映画上映「World Without Cows ～牛なき世界」
基調講演「エコフィードを活用した有機肉用牛生産に係る環境負荷の試算」
講演者: 農林水産省 研究統括官室 堤 道生 氏 ほか

NEWSばか読み

- 飲用乳価4円上げ価格実施 店頭価格への影響は未定8/1: 需要との関わり懸念
- 国土交通省 東京一大阪間80km自動物流道路30年代8/1: 無人化進む
- 農水省 環境直払い9万ha4.7%増みどり戦略で意識向上8/2:
- 北海道生食用ジャガイモ 男爵から線虫耐性品種に世代交代進む8/4:
- 農水省 25年上半期農産輸出額5200億円16%増、緑茶、牛肉伸びる8/5:
- 青果卸 24年度 取扱高増収増益7割収支改善8/5: 集約化へ
- 世界で深刻な暑さ 食料の依存は危険8/6:
- 総務省 日本人口1億2千万人 過去最大90万人減8/7: 減るヘル
- 農水省 23年度コメ生産で56万t不足 需給把握が課題8/8: 需給バランス実態把握できず
- 農水省 全国に水稻カメムシの異常多発で追加防除支援8/9: 異常気象虫多発
- ノーサイ 収入保険の加入が10万件超え8/11: リスクに対し自己防衛
- 農水省 有機表示違反24年度18件未認証やマーク無し販売8/15: まだまだ
- 農水省 鶏肉の食中毒予防の生産者向け手引書12年ぶり改訂8/16:

- 6月マルキン発動 16都道府県 需要低迷で増8/19:
- 欧州研究チーム 22-24年世界各地で食料品高騰 極端な高温干ばつ豪雨、、、8/20:
- 米国農務長官 農地の再エネ補助金を撤回8/20: 農地保護が目的なのか
- 政府 備蓄米・随契米の販売期間を延長8/21: コメ政策コロコロ
- JA鹿児島 肉牛でカーボンプレジット初認定 8/23: 脱酸素をお金に
- ソフトバンクG「アニマルック」遠隔診療サービスが広がる8/25: 診察判断適格性
- 愛媛県 鳥インフル時に泡殺で省力化実証8/25: 合理的に
- 2026年農水概算要求2.7兆円17%増コメ安定生産 統計精度向上へ8/26: コメ農水
- 電通調査 再訪したい国に日本 動機は日本食8/26: 良い食べ物を
- 山陰パナソニック 緑レーザーで牛舎のカラス撃退8/27:
- 学校給食無償化自治体で食物アレルギーに対する弁当無償化拡大8/27: 公平性
- 乾田直播 急拡大 コメ作の省力化大型化進む8/27:
- 農水省 23年化学肥料使用量が25%減 高騰影響8/30: 自然と減肥

東京直近NEWS(8/29 Shi-REPORT)

ホルス

市況相場は上場少なく上げ基調にて推移し、産地相対相場も上げ基調継続しており国産牛価格の底上げ状況。

頭数の慢性的不足から産地メーカーブレ値での取り合い、買付建値相場上昇中。

生産者も生産コスト上昇していることから強気な交渉状況。

販売面は逆に酷暑続いており食品全般値上げから消費は低迷。

特に盆休明け以降さらに消費鈍っており間屋筋も在庫消化に注力雰囲気。上位部位はかなり鈍く、切落しが唯一動き有るものの9月中は全般鈍いのではないかと。

頭数は慢性的に不足し、相場水準は高値も部分肉の値上げは難航しそう。

経産牛

北海道内の出回り頭数の減少基調は継続課題。

北海道外(本州)の地域も減少傾向深刻で、道内市場への買参人は日々増加中しており生体輸送費コスト上昇でも、集荷課題クリアの意図から購買欲は強気変わらず。

相場は高値上昇が続いており、枝肉@1000突破もし始めている。

販売面はパーツ不足感強く、赤身モモ、バラ系ロインも余剰無し。

加工原料としての冷凍アイテムも不足しており、バラ系やモモ赤身原料確保に苦慮し不安感強まる。

挽材はパーツよりも品不足感が深刻な状況。

定期定量販売分も不安感強まっており、この先の情勢が読めなくなりつつある。

反芻動物の科学Ⅲヒートストレスとその対処 ELF Consulting Office
10/30/2024 Toyohiko Seno 6回シリーズ⑤

水槽を点検、毎日洗浄する

新鮮な水の確保とともに、病原菌の増殖と感染の防止が必須となる。

ウオーターカップの点検と確認

漏れないか？
60分程度出るか？
凍結していないか？

⑩ 気化熱を利用したヒートストレス対策

気化熱は、20℃で1gの586カロリーなので、1kgの水が蒸発すれば、体温から1℃を奪う熱量に相当する。

透過にシャワーを掛け、牛体に直接水をかける初期の冷却方法

Cecilia Tucker¹ and Karin Schitz²

スプリンクラーで背中を75%濡らした後止めて水分を蒸発させる。

Photograph courtesy Jeff Dron, DVM

⑩ 細霧とファンを利用した冷却

霧中で多く呼吸された息が、蒸発熱を効果的に奪われる。

水冷横断換気：LPCV牛舎

結露発生 ← 高気圧側
*Low profile cross-ventilated free stall barn

Feed Line Soaking system

ローラー式のボウル
ボウルの上部にセンサーを取り付ける
(J.P. Farmer Co.)

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2024

転載・再利用は固くお断りします

話題提供2.「活用事例 藤森商会と食の地域循環」3回シリーズ③
藤森商会 代表取締役社長 藤森 康容 氏

3. 藤森商会と食の地域循環

藤森商会と食の地域循環【カレーライス物価指数】

藤森商会と食の地域循環

- 食料の安定供給は当たり前じゃない！
- 2022年 米価・小麦・牛肉
- 2023年 輸入食料高騰・高騰
- 2024年 米価・小麦・牛肉高騰
- 食料の安定供給は会社の死活問題
- 調達難の時に助けてくれるのは地元産の農家・業者さん
- 自給・自産の強み
- 環境・安全・高品質な産物
- 経済性も大切

藤森商会のSDGs宣言

2023年にSDGs宣言書を策定しました

藤森商会が出来る食の地域循環

- 長年の心得（食生活）で出来ることは指し示される
- 1. 地元の食料生産
- 2. 食料が豊富な食料による食の安全の確保
- 3. 新鮮な食料の活用
- 4. 食料による地元人材の確保・雇用の向上
- 5. 生産者・事業者との関係の強化

藤森商会の取組【食の地域循環と経済】

【まとめ】

藤森商会は、地元食料の活用と食の安全を通じて地域の健康と経済の活性化に貢献し、持続可能な食の地域循環を目指します。

- 地域貢献
- 多様なイベントの開催、地域の魅力発信・観光の向上、健康増進、地元食料の活用

受け継ぐ、時代を創る、未来につなげる。

食の循環「北海道・十勝」。この場において創業以来40年以上の歴史を継いで食の循環「食の心」。

その源は、日々斬々と続いてきた先人達の夢によって成り立っています。

時代は常に変化しています。その変化を感じながら先人達の思いを受け継ぎ、又未来に向け奮闘するしるしを刻むべき時をこれからも守りつづけます。

レストランでは長年に渡り愛された家々からお客様、宴会の場には基本を押しつつ、新たな食の可能性を探り、提供し続けていきます。

その先に先人の笑顔があると信じて。

終わり

ご清聴ありがとうございました！

株式会社 藤森商会